

きみならどうする？



え
絵：ふう

ぶん
文：ひいふうみい

ふくちやまし
福知山市

ぼうさい
コドモ防災

ふうちゃんはアパートききょうの1階に住んでいます。今日はお母さんと2人でお父さんの誕生日プレゼントを買いに出かけていました。



②



★ アパートききょう



③

ふうちゃんとお母さんが買い物から帰ってくると、隣の部屋に住んでいるおばちゃんに出会いました。

（おばちゃん） 「あらふうちゃんおかえりなさい。」

（ふうちゃん） 「おばちゃんこんにちは！」





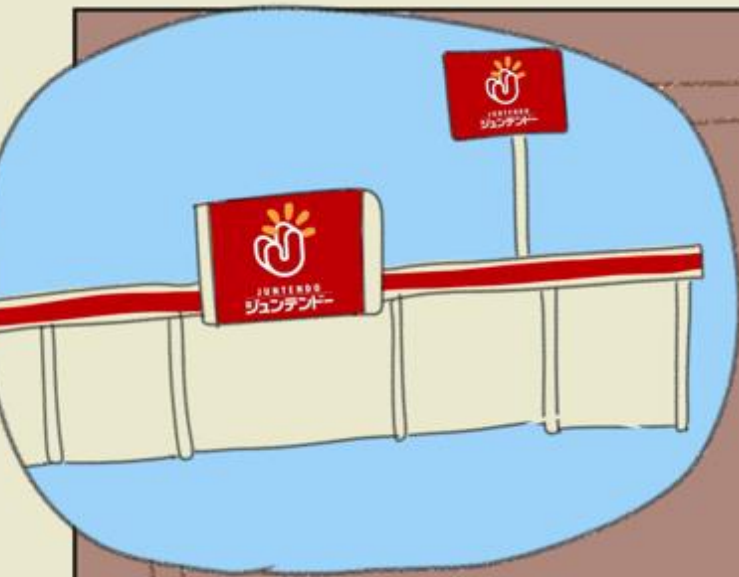
④

（お母さん） 「どこかへおでかけですか？」

（おばちゃん） 「今から避難するんだけど、私はプラントに避難するか、ジュンテンドーに避難するか悩んでいるの。」

（お母さん） 「えっ避難ですか！？」

（おばちゃん） 「そうよお。これから大雨が降るのよ。それでね、ここは大雨が降ったら危ないってハザードマップに書いてあったから雨が降る前に避難するのよ。」





⑤

ふうちゃんとお母さんはすぐに家に入っ
てお父さんに伝えました。

（ふうちゃん） 「ただいまー、お父さん
大変大変！」

（お母さん） 「これから大雨が降るらし
いわよ。」

（お父さん） 「天気予報でも明日は大雨
だって言ってるね。うちも一階に住んで
るから大雨が降ったら家の中に水が入っ
てくるかもしれないね。」

（お母さん） 「じゃあ、念のため、今日
の夜は家族みんなで車で高いところに
行って、お泊りするのはどうかな？」

（ふうちゃん） 「賛成！キャンプみたい
で楽しそう！」





⑥

いったい何を準備したらいいのかな？

（お母さん）「お母さんはみんなのご飯と飲み物をかばんにつめとくね。」





⑦

（お父さん）「じゃあお父さんは車の中で寝られるように布団と避難グッズを準備するよ。」





⑧

(ふうちゃん)「じゃあ私はいつも一緒に
いるマロンちゃんと大好きなフカフカタオ
ルを持っていくよ！」





⑨

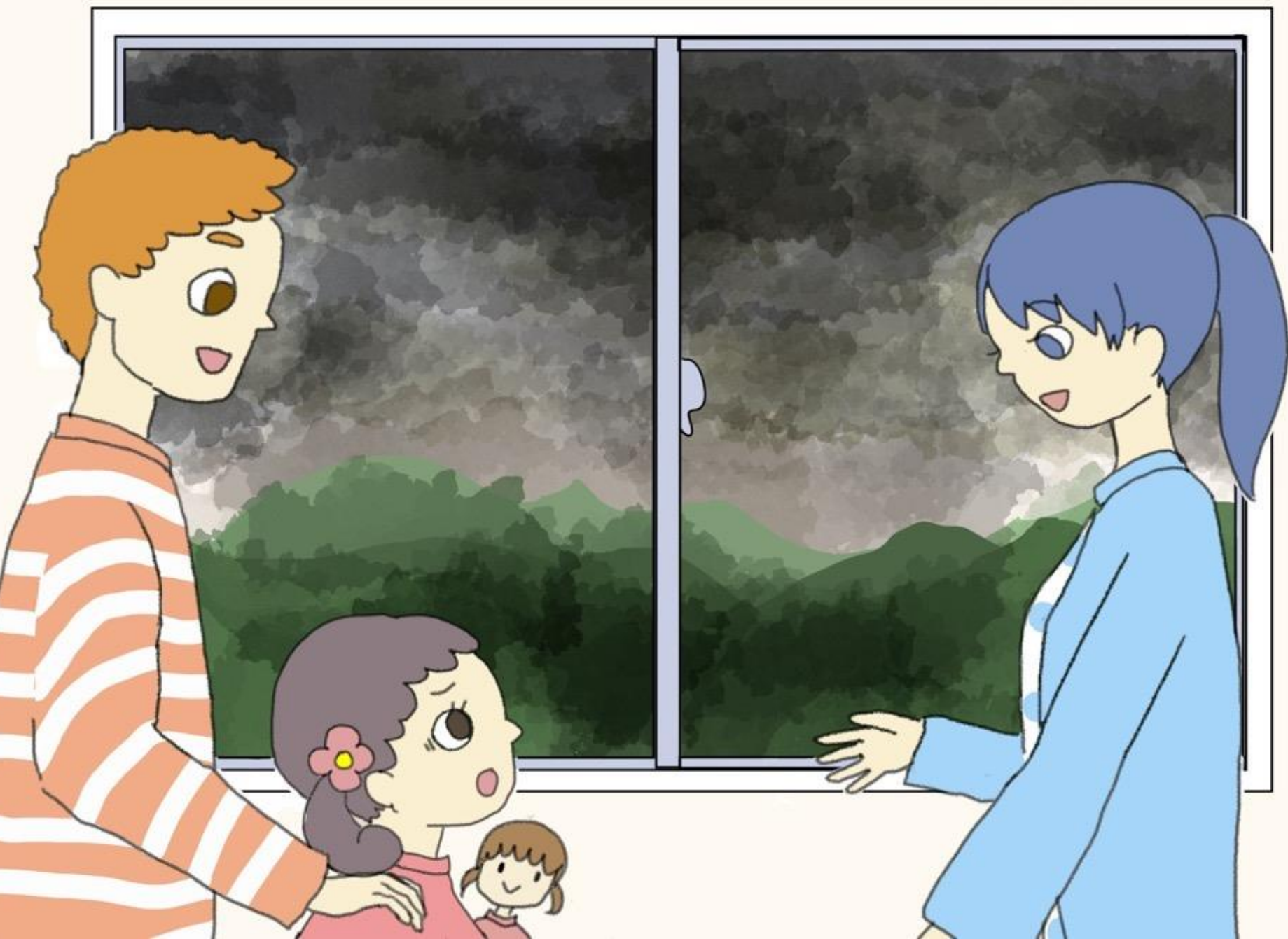
気が付くと、お昼なのに、外が夜みたいになり、真っ暗になってきました。

（お父さん）「大雨が降る前に車に乗って避難しようか。」

（お母さん）「そうしましょう。ふうちゃん大事なマロンちゃんとタオルは持った？」

（ふうちゃん）「持ったよー。」

（全員）「出発進行♪」





⑩

お父さんの運転でイオンの駐車場に避難しました。

（お父さん）「他の人も避難してきたのかな。車がいっぱい止まってるね。うちも早速準備をしようか。」





②

お父さんが車から荷物を取り出している間に
ふうちゃんはお母さんと一緒に布団を準備
しました。





⑫

準備を頑張ったので、ふうちゃんは眠
たくなってきました。

ふうちゃんはマロンちゃんを抱きしめ
て布団に入りました。

車の中といういつもと違う雰囲気
に、ふうちゃんはワクワクしました。





⑬

ザーザー、ビュービュー、
ガタガタ、パチパチ

（お母さん）「急に降ってきたね。」

（ふうちゃん）「えーん！怖いよー！」

思っていたよりも雨の音が大きくなってふうちゃん
は眠れなくなっていました。





⑭

すると、お父さんが避難グッズの中から絵本を取り出しました。

（ふうちゃん） 「私の大好きな絵本だ！」

いつものようにお父さんが絵本を読んでくれたので、雨の音なんか忘れてふうちゃんは安心して眠ることができました。





⑮

次の日の朝、ふうちゃんが目を覚ますと、雨はやんで、ピカピカのお空になっていました。

（お父さん）「雨もやんだし、家に帰ろうか。」

ふうちゃんは、本当は雨の音がちよっぴり怖かったけど、お父さんが絵本を読んでくれてなんだかとっても楽しかったみたい。

（お父さん）「また大雨が降ったら、みんなでイオンの駐車場に逃げたら安心だね。」

（ふうちゃん）「うん！みんなにも明日保育園で教えてあげようっ！」

おしまい。



きみならどうする？

大雨・車中泊避難編



①